

第23期新宿区社会教育委員の会議 第1回定例会 議事要旨

日時 令和4年1月28日(金)
場所 オンライン形式
出席者 矢口議長、中村副議長、藤後委員、遠藤委員、田中委員、酒井委員、鶴巻委員、
石橋委員、清水委員、伊藤委員
事務局 教育支援課長、事務局

○事務局

それでは、社会教育委員の会議第1回定例会を開催いたします。

会議を始める前に、先日送付しました資料を確認させていただきます。

お送りしたのは、会議の次第、第23回社会教育委員活動予定表の案、新宿区社会教育委員の会議これまでの活動一覧、そして、関係法令です。

初めに、議長が決まるまで、事務局が進行させていただきます。

議事に入る前に申し上げます。

本会議については、原則公開となり、議事録についても公開していくこととなります。今後の会議も、小委員会も含めて原則公開とし、協議によっては非公式にできるということによるのでしょうか。

ありがとうございます。

異議はないようですので、会議は公開とし、必要な場合は協議によって非公式にできることといたします。

本日は、委員10名中10名ご出席をいただいておりますので、新宿区社会教育委員会会議規則第4条の規定により会議が成立していることをご報告いたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

まず、委員の紹介に入ります。

それぞれ団体の活動の紹介などもしていただきながら、自己紹介をお願いしたいと思います。

○委員 早稲田大学の教育学部で生涯教育を専門にしております。

学校教育、家庭教育の問題を、生涯教育の立場からも考えていきたいと思っております。

前の任期の10月、11月頃には、コロナが大分落ち着いてきたので、今度は対面で会えませぬとお話していたのですが、またこういう状況になってしまいました。小さい子どもたちが、小さいマスクを口にして、学校へ登校するのが日常になってしまっていて、心苦しく思っています。コロナで見えてきた問題もありますし、ほかにも子どもたちに関わる問題がたくさんあると思っております。みなさんのいろいろなお立場、ご経験からお話を伺って、考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○事務局 ありがとうございます。

○委員

東京未来大学の子ども心理学部に所属しております。臨床心理士や公認心理士として臨床現場で仕事をさせていただいております。

主な臨床現場としましては、週1回保育園に行っております。あとは中学校のスクールカウンセラーなどの経験がございます。

私の専門は臨床心理学や発達心理学、そしてコミュニティ心理学です。研究の分野としましては、大きく分けて2つあります。

1つは社会的子育てについてです。地域で子どもたち、そして家庭をどう支えていくかというようなことを研究しております。

もう一つは、スポーツを軸にしながら、スポーツを通して親がどう関わっていくか、指導者がどう関わっていくかという研究をしております。最近、それが発展して、スポーツだけじゃなくて勉強であったり習い事などもテーマにしております。親御さんを切り口にしながらみんなで子どもを支えていこうという研究や実践をしています。

以上です。よろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

○委員 私は、任意団体エンジェルズアイズというネット依存を予防する団体の代表をしております。現在はネット依存だけではなく、情報モラルでネットとの上手な付き合い方や、最近ではデジタルシチズンシップやデジタルウェルビーイングという内容で、幅広くネットに関する取材をしています。また、保護者や生徒向けの講座などもしております。

新宿区では、七、八年ぐらい前から、非行克服支援センターの思春期の子どもと向き合うという講座で、情報モラルに関して、若しくはネットが思春期の子どもに与える影響などについてお話をさせていただく機会をいただいています。また区立中学校では中学1年生を対象に「知ることが護身術」というタイトルでネットを使う上での注意点についてお話しています。

ほかには、最近は動画を作ることもありますし、あとは、私自身も孫がおりますので、幼児のネットとの関わりにも力を入れています。殊にこここのところGIGAスクールが始まって、小学生のタブレットの使い方とか、GIGAスクールに対応している推進員の先生方とお話をしていると、非常に家庭の力が重要になってきていることと、教育に関しても、学力より、非認知能力のほうがとても重要になってきているということを痛感いたしております。非認知能力を高めることイコール情報モラルが、ネットリテラシーを高めるということにもつながると思っておりますので、そのあたりをすごく強化していきたいと、孫のことを思いつつ考えているおばあちゃんでもあります。

中学校のほうでは、相談員という仕事をしておりますので、不登校の子どもやその親御さん、あとネットに関することに加え、ネット以外のことでも悩みを持つ生徒さんたちの対応をさせていただいております。

また、最近はeスポーツについても関心を持っています。eスポーツをやっている高校の部員の方々とお話をして、ネット依存とeスポーツというものが全く違うものだということも認知し始めてきたところなんです。ある市では、不登校の児童、生徒を呼び寄せるツールにならないかということも考えたりするので、そちらのほうでも今後協力できることはしていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

○委員 どうも初めまして。

私はスクール・コーディネーター連絡会から推薦を受けて、今回初めて参加させていただきます。

スクール・コーディネーターは、区立小学校、中学校に、学校と地域をつなぐ役割として区教育委員会から委嘱され配置されております。私は四谷地区、四谷小学校担当のスクール・コーディネーターです。

私自身は、この四谷小学校が統廃合で15年前にできたのですが、四谷第三小学校という、統合される前の学校のPTA会長になったのが20年ほど前です。統合後に引き続き最初のPTA会長となったので、統廃合については7年間関わってきました。その後、四谷中学校のPTA会長となり地域協働学校の立ち上げにも参加しました。こういった流れで学校との関係が20年ほどありますので、四谷地域と学校の橋渡しということで、スクール・コーディネーターを受けております。

地域では、四谷小学校のある四谷二丁目の町会副会長と商店会長をしております。ほかに、四谷地区協議会という地域の協議会活動で、四谷のまち歩きガイドということで、ガイドを12年やっております。四谷地区のガイド活動を年7回ほど、広報新宿で公開して、人を連れてまちを歩いたりしております。

よろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございました。

○委員 前回に引き続きよろしくお願いいたします。

私の立場として、地域協働学校運営協議会の会長としてやっていますが、新宿区は、このコミュニティ・スクールの研究を始めたのが平成18年で、授業の改善と学力向上、そして、学校を拠点とした学びのコミュニティをつくるという大きな目標があつてやってきました。そのとき私は、スクール・コーディネーターとして、学校教育にどのような地域社会の協力、教育力を活用するかということを中心にやっております。四谷中の場合は、その研究で全教科、総合的な学習全てに、地域社会の教育力を上げるという研究発表をしてきております。

ただ、研究開始時から学校運営協議会を全校に配置するまで10年ほどかかっています（平成29年度全校配置）。ですから、学校運営協議会の在り方をこの辺で再度軌道修正したほうがいいのかということも思っています。

四谷中としては、今回データブックを見ましたが、学力の二極化、特別支援、不登校、多様な人材、非認知能力、これらのものは、もうほとんど研究の段階で取り組んでいます。ただし、校長先生が替わって人が替わるときの引継ぎの難しさをすごく感じているところです。

四谷中は、今、月1回、第2火曜日でやっていて、会議は1時間程度で終わらせています。そして、年間通して学校の先生全員と、生徒会とで意見交換をしながら進めています。学校、保護者、地域で、学校の運営、学校評価、学校支援活動について、その三者がきちんと話し合つて、よりよい教育活動をつくっていくということを目的としています。私は統廃合による旧四谷第四小学校を担当していました。小学校10年と、それから中学校も担当したので、小・中の違いのよさはすごく分かるんですが、小中連携に関しても、引継ぎの難しさというものを感じています。ただ、学力、非認知能力に関しましても、小中連携、あるいは高校との連携、幼保小中連携等の必要性を、今、感じているところです。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございました。

○委員 よろしく願いいたします。

私は、現在、早稲田ミュージックラボからこちらに参加させていただいておりますが、コロナの関係で、ほとんど小学校対象の合唱団、そして中高生、あるいは大学生も含めての吹奏楽、こちらの活動はあまりできておりません。

私は、昭和五十二、三年頃からPTA活動を始めまして、それから、学校週5日制になったときに、子どもクラブを立ち上げて、算数クラブとか科学クラブ、そして食育は10年以上やらせていただきました。そんな中で、地域活動をさせていただいて、育成会とか、それから町会とか、今は地域協働学校にも委員として入らせていただいておりますが、長年の地域活動を根底に活動をしておりまして、今回のこのテーマを見ますと、やはり地域の支援が大変必要なということを感じております。

皆様方と一緒に、新宿の子どもたちのよりよい学びと心育てに、何らかの形でお力添えができればよろしいかなと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございました。

○委員 よろしく願いいたします。

新宿子育てメッセの実行委員から出ております。今、第12回子育てメッセに向けて準備が始まっており、第12回は副委員長をさせていただいております。

自分の団体の活動としましては、未就園児の親子を対照とした子育て広場の運営をさせていただいております。中学生の息子と、小学生の娘がおりますので、保護者の立場からでも意見が言えたらいいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございました。

○委員 こんにちは。前回から引き続いてよろしくお願いいたします。

新宿区家庭教育推進協議会というところからこちらに伺っております。家庭教育について考える団体です。

地域では、子どもの学校のPTA活動をやっております。オミクロン株の影響で、今も一緒にリモートをやっている状況です。

今回のテーマが、小学校低学年を対象とした多様な支援の充実ということで、こちらのほうですと、地域では、新宿区の民生委員をやっております、困っている方たちに向けて社会福祉協議会が中心になって食べ物をお届けしたんですが、対象者を限定するのがとても難しいということが課題になっています。

昨日もちょうど、どうやって対象の方にお届けするか、その方とどうやってお話をしたほうがいいのか、その方の話をどういうふうに引き出すのかというレクチャーをリモートで受けたところです。こんなコロナ禍で、低学年の子どもたちがどうしているかと思うと、とても身につまされます。よろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございました。

○委員 皆様、こんにちは。

今期は小学校長会会長として参加させていただいております。

今期のテーマが、小学校低学年を対象とした多様な支援の充実ということで、まさに中心になる学校が小学校であります。

また、今まで皆様のお言葉をいただいて、こんなにすばらしい方々が、学校、子どもたちの

支援に当たってくださっているということを知り、非常に心強く思っております。まさにターゲットの中心である小学校でありますので、皆様の知見をいただきながら、小学校教育、特に今回のテーマである低学年を対象とした多様な支援の充実というところを、私自身も学び、学校で取り入れ、そして小学校長会に広めていきながら、新宿区の子どもたちのために尽力していきたいと思っておりますので、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

○委員 皆様、こんにちは。

中学校長会を代表して参加させていただきました。

この社会教育委員の会議は初めての参加ですが、本当に幅広い皆様をご参加されているので、一緒に学ばせていただければありがたいなというふうに思っています。

今、小・中併せてですけれども、このコロナ禍で感染者数が急激に拡大して、どういうふうに学校生活を維持・継続させるか、改善しながら日々を送っているような状況です。特に3年生は今、受験期に入っていますので、まずこの受験期を無事に乗り越えさせて、自分の歩んでいく道筋をつけてあげたいなと思っています。

本当に中学生として、時代にとらわれずに、しっかりと身につけてはいけない基本的な力というものも大事にしながら、ただ、社会の変化、時代の変化に対応する力も身につけていかなくてはいけないと思っていますので、また一緒に考えさせていただければと思います。

これからよろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

今、皆様の自己紹介と共に、熱い思いをお聞きいたしました。2年間、これからどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、正副議長の選出に移ります。

新宿区社会教育委員会会議規則第2条の規定により、委員会には委員の互選による議長と副議長を置くと定められておりますので、議長の選出をしたいと思っております。

どなたかご意見等ありますでしょうか。

ご意見がないようでしたら、事務局のほうから推薦を行いたいと思っております。

早稲田大学で生涯学習及び社会教育の教鞭を執られている矢口委員に議長をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

ありがとうございます。

では、異議がないようですので、議長は矢口委員をお願いしたいと思っております。矢口委員、よろしいでしょうか。

○委員 よろしくお願いいたします。

○事務局 よろしくお願いいたします。

では、ここで、進行を議長のほうに交代いたします。

○議長 それでは、この議事に従って、引き続きお話を進めさせていただきたいと思っております。

つづきまして、副議長の選出に移ります。副議長について、ご意見、ご推薦ございますでしょうか。

もしなければ、引き続き前期ご担当いただきました中村委員をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○委員 では、お引き受けさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長 よろしくお願ひします。

どうもありがとうございました。

では、この議事については、前期に引き続き中村委員と私で進めさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

その次に、社会教育委員の今期の活動についてということですが、これは事務局のほうから、改めてその概要を説明していただひてよろしいでしょうか。

○事務局

今期のテーマについてお話しさせていただきます。

第23期は、小学校低学年を対象とした多様な支援の充実ということをテーマに設定させていただきます。

なぜ小学校低学年なのかということですが、小学校低学年は、学校生活の基本を身につけ、家庭学習の習慣を形成する大切な時期であるとともに、様々な経験や体験を通して社会性を育んでいく重要な時期でもあります。

かつ学力に関して言うと、小学校低学年で開いてしまった学力差が、小学校中高学年に向けてどんどん拡大していってしまうというデータがございます。様々な問題について根本的に大切な小学校低学年という時期に支援を充実させることが、子どもの将来にとってもよいのではないかと考えた次第です。ただ、いろいろな問題を抱えているので、学校だけ、あるいは家庭だけで解決できる問題ではないということで、社会教育の立場から、皆様の様々な立場から検討いただきまして、子どもが将来に希望を持てるような施策を皆さんでご議論いただければと考えております。

具体的に、では、どのようなこととお話ししていただひきたいか、事務局のほうで3つ提案いたします。

まず1つ目、家庭学習や自学自習に向けた支援ということで、子ども向けの支援と親への支援ということに分けていますが、いずれも学力の向上に着目した視点となっております。

続きまして2つ目は、多様な経験、体験を通した子どもの成長を促すための支援です。こちらは、視野を広げたりですとか、今、委員の方からもお話がありましたが、非認知能力を育てるためにどのようなことができるか、豊かな心を育てるためにどのようなことができるかという視点でご議論いただければと考えております。

そして、最後、心理的負担を軽減するための支援ということです。目まぐるしく変化する社会の中や、様々な家庭環境の中で、保護者や子どもも心理的な負担を感じる人が多いのではないのでしょうか。この心理的な負担を減らすことが、健やかな子どもの成長につながっていくのではないかと考えまして、3つ目に心理的な負担を軽減するためにどのようなことができるかという視点を盛り込みました。

以上、3点でご議論いただければ幸いです。

続きまして、それをどのようなスケジュールでお話しいただくかということですが、既に配付しております第23期社会教育委員の会議、会議日程をご覧ください。

本日が第1回定例会で、これから先、全7回の定例会を行う予定です。この7回の定例会が終わる頃には、報告書として、2年間かけて皆様にご議論いただひた内容をまとめまして、教

育委員に提言いたします。最終的には、新宿区議会にも報告をいたします。

このような報告書をまとめるまでの過程として、第3回定例会から本格的に議論を進めていただき、3回、4回、5回の3回で、3つの視点についてお話しいただいた後、報告書を作成するための方向性を決めていただき、その報告書の内容についてご意見をいただくという流れを経て、第7回の定例会、10月に終了予定です。

事務局から、今期の活動についての説明は以上です。ありがとうございました。

○議長 ありがとうございました。

ご意見とかご質問とかございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、小学校低学年に対する支援ということと、家庭学習や自学自習に向けたことというのが1つ目。それから、多様な経験・体験を通じた子どもの成長を促すということと、心理的負担を軽減するための支援ということが出てきましたけれども、この3つの視点で、具体的には5月以降会議を重ねていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

先ほど、校長先生のほうからもお話がありましたように、本当にいろいろな立場から学校の子どもたちを支えるために活動をしていただいている方ばかりですので、皆様のご見識から、あるいはご経験から、なるべく具体的なお話、ご提案をいただければと思っております。

事務局からの連絡事項はありますか。

○事務局 事務局から、図書館運営協議会についてお話をさせていただきます。

図書館運営協議会という、図書館で社会教育委員のようにテーマを決めて、2年の任期でお話しいただく会議があるのですが、こちらに今まで中村副議長と石橋委員に参加いただいております。第23期社会教育委員として、新しく会期が切り替わったということで、改めて社会教育委員のほうから2名正式に推薦をさせていただきたいと思っておりますが、今までご出席いただいていた中村副議長と石橋委員を、引き続き推薦させていただいてもよろしいかどうか、皆様にご同意いただければと思ひまして、この機会を設けさせていただきました。

皆様、いかがでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、皆様のご同意をいただきましたので、引き続き中村副議長と石橋委員、どうぞよろしくお願いたします。

事務局からの連絡は以上です。

○議長 ありがとうございました。

私自身は生涯教育、社会教育ということを専門にしていますが、地域の活動をされている方々のお話というのは、本当に学ぶところが多いです。

子どもの通っていた学校でPTA活動をやっていたことがあります。学校というのは、そこに通う子どもたちは、いろいろな人に支えられて生活していくし、育っていくのだということを実感しました。これは、本や資料を読んでも学べないことなので、そういうことを皆さんからアイデアも含めて出していただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

○副議長 皆様、お疲れさまでございました。

第23期のテーマは、小学校低学年を対象とした多様な支援の充実、そして、3つの視点も決まっております。どうぞ皆様のご経験からのご意見を活発にお出しいただいて、新宿区の子

どもたちの学びと、そして、心豊かな人間性を育むために、ぜひ2年間どうぞよろしく願い
いたします。

本当に本日はお疲れ様でございました。ありがとうございます。